

令和4年度 全国学力・学習状況調査 鴻巣市の結果の概要【小学校】

1 鴻巣市と埼玉県・全国との正答率比較

	国 語	算 数	理 科
鴻巣市	67	64	65
埼玉県	67	64	65
全 国	65.6	63.2	63.3

2 小学校各教科の領域・区分等について

国語	<p>「話すこと・聞くこと」は、全国平均を上回り、県平均を下回っています。</p> <p>「書くこと」は、全国平均を上回り、県平均と同数です。</p> <p>「読むこと」は、全国平均を上回り、県平均を下回っています。</p> <p>「言葉の特徴や使い方に関する事項」は、全国・県平均を上回っています。</p> <p>「我が国の言語文化に関する事項」は、全国・県平均を上回っています。</p>
算数	<p>「数と計算」は、全国・県平均を上回っています。</p> <p>「図形」は、全国・県平均を上回っています。</p> <p>「変化と関係」は、全国平均を上回り、県平均と同数です。</p> <p>「データの活用」は、全国・県平均を上回っています。</p>
理科	<p>「エネルギー」を柱とする領域は、全国平均を上回り、県平均を下回っています。</p> <p>「粒子」を柱とする領域は、全国・県平均を上回っています。</p> <p>「生命」を柱とする領域は、全国・県平均を上回っています。</p> <p>「地球」を柱とする領域は、全国平均を上回り、県平均と同数です。</p>

3 質問紙調査から（一部抜粋）当てはまる・どちらかといえば当てはまるを選んだ児童の割合

質問事項	鴻巣市	埼玉県	(差)	全 国	(差)
学校に行くのは楽しいと思いますか	91.9	86.9	+5.0	85.4	+6.5
将来の夢や目標を持っていますか	82.9	81.3	+1.6	79.8	+3.1
家で自分で計画を立てて勉強をしていますか (学校の授業の予習や復習を含む)	77.4	74.1	+3.3	71.1	+6.3
5年生までに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか	84.1	82.8	+1.3	79.7	+4.4
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか	83.8	83.5	+0.3	80.1	+3.7
自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	78.1	76.6	+1.5	73.5	+4.6
地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	51.3	53.7	-2.4	51.3	±0
国語の勉強は大切だと思いますか	95.0	94.6	+0.4	93.3	+1.7
算数の勉強は大切だと思いますか	95.9	94.9	+1.0	94.2	+1.7
道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか	83.0	84.0	-1.0	80.0	+3.0

4 学習指導改善のための今後の方策

各学校の実情に応じて、以下の取組を推進してまいります。

【鴻巣市学習指導の重点】

- 学習課題を明確にし、児童生徒が見通しをもって学習するとともに、学んだことを自分の言葉で表現するなど、一人一人が学習の成果を振り返ることができる授業を展開していきます。
- 学習課題について一人一人が考える時間を十分に確保し、自分の考えをもって他者と交流することで、考えを深めていくことができる授業を展開していきます。
- 学んだことが確実に定着するよう、授業の中でまとめの練習問題に取り組むとともに、新たな課題を見付けたり、日常生活に活用したりできる授業を展開していきます。

【各教科における指導方法の改善】＜国語＞

○〔言葉の特徴や使い方に関する事項〕＜重点：言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることを捉える＞

- ・話し合いにおいては、相手とのつながりをつくる働きのある言葉を適切に用いながら、話し合いを進めていくことが大切です。話し手と聞き手の間に好ましい関係を築き、継続させる言葉の働きに気付くことができるように、振り返りの場面などで自分たちの話し合いの様子を確かめる活動を設定する等し、指導していきます。

○〔我が国の言語文化に関する事項〕＜重点：漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書く＞

- ・読みやすい文や文章を書くには、一文字一文字を整えることに加え、文字の集まりという面から整えることが重要です。相手にとって読みやすいかということを意識して書くことや、漢字や仮名の大きさや配列に注意して書く場面を設定すること、毛筆で学習したことを日常生活で生かすことを意識できるように、指導していきます。

○〔話すこと・聞くこと〕＜重点：互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、自分の考えをまとめる＞

- ・話し合った後で考えをまとめる際には、様々な視点から検討したことを踏まえて、自分の考えをまとめることが求められます。話し合いを始める際に話し合いの目的や方向性を検討すること、話し合いの展開や内容を踏まえて互いの意見を整理すること、様々な視点から検討して自分の考えをまとめることを、指導していきます。

○〔書くこと〕＜重点：文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付ける＞

- ・互いの文章に対する感想や意見を伝え合うことを通して、自分の文章のよいところを見付けることができるようにすることが重要です。自分の文章のよいところを見付けたり、それを言葉で表したりすることや、互いの文章を読み合うことで、経験の取り上げ方や言葉の選び方、書き方の工夫を認め合い、自分の表現に生かすことを、指導していきます。

○〔読むこと〕＜重点：表現の効果を考える＞

- ・想像した人物像や全体像と関わらせながら、様々な表現が読み手に与える効果について自分の考えを明らかにしていくことが重要です。感動やユーモアなどを生み出す優れた叙述、暗示性の高い表現、メッセージや題材を強く意識させる表現などに着目して読むことを、指導していきます。

【各教科における指導方法の改善】＜算数＞

○〔数と計算〕＜重点：被乗数に空位のある整数の計算をすることができる＞

- ・(整数) × (整数) の乗法の計算をすることができるようにすることが重要です。被乗数を10倍にすると積も10倍になるなど、乗法に関して成り立つ性質を生かして計算できるように、指導していきます。

○〔図形〕＜重点：正三角形の意味や性質を基に、回転の大きさとして角の大きさに着目し、正三角形の構成の仕方について考察し、記述できる＞

- ・図形の意味や性質を基に、辺の長さや角の大きさに着目し、図形の構成の仕方について考察できるようにすることが重要です。試行錯誤しながら、回転する角の大きさを120°にする必要があることに気づき、その理由を説明する活動を取り入れる等し、指導していきます。

○〔変化と関係〕＜重点：数量が変わっても割合は変わらないことを理解している＞

- ・日常の具体的な場面に対応させながら、例えば、飲み物の量に対する果汁の量の割合が、飲み物の濃さを表していることなどを理解できるようにすることが重要です。果汁が含まれている飲み物を二つに等しく分けても、飲み物の濃さは変わらないという生活経験を想起しながら、飲み物の量に

対する果汁の量の割合は変わらないと判断すること等を、指導していきます。

○ **〔データの活用〕** <重点：分類整理されたデータを基に、目的に応じてデータの特徴を捉え考察できる>

- ・目的に応じて筋道を立てて考察できることが重要です。データを整理する観点に着目し、身の回りの事象について表やグラフを用いて考察して、見出したことを表現する活動を取り入れる等し、指導していきます。

【各教科における指導方法の改善】 <理科>

○ **〔「エネルギー」を柱とする領域〕** <重点：自分で発想した実験の方法と、追加された情報を基に、実験の方法を検討して、改善し、自分の考えをもつことができる>

- ・観察、実験などを行った後に、適切な方法であったかを確認できるようにすることが重要です。同じ実験を行ったにも関わらず、他のグループと違う結果になった場合や、実験を複数回行った結果にばらつきが生じた場合などに、その要因を見出して、実験の方法を検討し、必要に応じて改善する学習活動を行う等し、指導していきます。

○ **〔「粒子」を柱とする領域〕** <重点：水は水蒸気になって空気中に含まれていることを理解している>

- ・知識をより深く理解できるようにするために、主体的な問題解決を通して知識を習得し、学習の成果を日常生活との関わりの中で捉えなおすことができるように、指導していきます。

○ **〔「生命」を柱とする領域〕** <重点：問題を解決するために必要な観察の視点を基に、問題を解決するまでの道筋を構想し、自分の考えをもつことができる>

- ・自分の予想や仮説だけでなく、他者の予想や仮説についても把握し、解決の方法を発想できるように、指導していきます。

○ **〔「地球」を柱とする領域〕** <重点：観察などで得た結果を、結果からいえることの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができる>

- ・提示された資料から数量、変化の大きさなどの特徴を読み取り、自分の考えを表現できるようにすることが重要です。結果などから結論を導き出すために必要な数量、変化の大きさなどの特徴を見つけ、自分の考えをもち、それらを話し合う学習活動を取り入れる等し、指導していきます。